

授業科目名 (英文表記)	コロナ後の世界と私たちの生活 (Life in a post-coronavirus world)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	金川めぐみ、厨子 直之、豊田 充崇、藤永 博、鈴木 裕範 (非常勤講師)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 5月14日(土) 13:00~17:00	④ 7月23日(土) 13:00~17:00	
	② 6月18日(土) 13:00~17:00	⑤ 8月13日(土) 13:00~17:00	
	③ 7月16日(土) 13:00~17:00	⑥ 8月27日(土) 13:00~17:00	

#### 【授業の概要・ねらい】

本授業では、新型コロナウイルスのパンデミックが引き起こした影響を検証し、混沌の時代を生きていく社会のあり方や個人の暮らしを、三つのテーマで考察することを目的とします。ひとつは、新型コロナが福祉や雇用にどのような問題を引き起こしているのかを検証しながら、コロナ後の世界に対応できる心理的安全性の高いひとづくりと地域づくりをいかに進めるのかです。二つ目は新型コロナという経験したことのない大事件のもとで、判断を間違えないための情報の読み方です。コロナから学ぶ大災害への備えと知恵を探ります。歴史的な事件に直面したとき、国民に「正確な情報」を伝えるのは、SNSではなくジャーナリズムの仕事です。コロナ下で日本のジャーナリズムは地域の期待に十分応えたか、このことはあすの暮らしのために改めて考察すべき問題です。そして情報を扱う際の情報(メディア)リテラシーや教育分野にも急速に導入が進みつつあるICTの活用に関しても正しい知識が必要となっています。このようなことを基に、情報の受け止めと活用についても考えます。三つ目は、人と人のつながり、ヒトとウイルスの関係、人間を含めた生態系(環境)などについてふりかえり、心身をいかに健康に保っていくかです。レジリエンスをキーワードに、これらの点を考えていきます。

#### 【授業計画】

##### 第1回「レジリエンス～逆境に耐えるしなやかな心」 経済学部：藤永 博

様々なストレスや逆境に耐え、それらをしなやかに乗り越えていく力は、近年「レジリエンス(逆境力、精神的回復力など)」と呼ばれ、注目を集めています。第1回の授業では、「レジリエンス」を自ら鍛えるうえで役に立つ基本的な考え方やスキルについて学びます。

##### 第2回「コロナ後の福祉・労働政策」 経済学部：金川めぐみ

コロナ禍は、和歌山県の地域経済にも深刻な影響を与えており、企業等の活動の停滞は多くの生活困窮者を生み出し、とくに一人親家庭や非正規雇用者などの暮らしを直撃しています。コロナ前後の福祉・労働政策の現状と課題を家族や地域との関係から明らかにし、これからの展望をします。

##### 第3回「コロナ後と問われるコミュニティ力」 非常勤講師：鈴木 裕範

コロナそして変異株ウイルスは、日本社会に潜む差別、偏見、分断、日本人の本性を顕在化させました。いま、私たちが暮らすコミュニティの質があらためて問われています。コロナ後そしてこれからのコミュニティは、新たなコミュニティの創造について考えます。

##### 第4回「心理的安全性を高める人材育成～コーチング教材の作成と実演～」 経済学部：厨子 直之

コロナ禍で急速に進化したリモートワークは、コロナ収束後も継続される見込みが高いです。空間的に離れた場で仕事を進める際に重要になるのが、心理的安全性(自分の意見や考えを素直に発言できる雰囲気)です。心理的安全性を促進する人材育成の手法の1つに、コーチングがあります。受講生にはコーチング教材を実際に作成し、実演していただくことを通じて、リモートワーク下で心理的安全性の高い職場づくりにつながる具体的手法について習得することを目的とします。

##### 第5回「コロナ禍における教育とICT」 教育学部：豊田 充崇

コロナ禍によって、GIGAスクール事業(タブレット一人一台体制)が急速に進みました。オンライン授業をはじめ、学校現場では何が変わったのか、その成果や課題はなにか。そして和歌山の抱える教育の諸課題に「GIGAスクール」でどのようにアプローチしていくのか。今後のICT活用教育の方向性と可能性を考えます。

##### 第6回「ポストコロナで求められるジャーナリズムの役割と責任」 非常勤講師：鈴木 裕範

100年に一度という災禍のもと、フェイクニュースや無責任な情報が飛び交う中でジャーナリズムが果たすべき役割は何なのか。社会の狭間におかれた忘れられた人々への視点は?地域社会とともにあるローカルメディアの側に立ち、コロナ後の社会報道の在り方を検討します。

#### 【到達目標】

コロナ禍やコロナ後における「福祉・労働」「心理的安全性」「メディアの活用や情報リテラシー」「レジリエンス」に関する知識を得て、自分の考えを述べるができる。多様な社会環境で暮らすための情報を正しく得て活用することができる。

#### 【教科書】

「レジリエンスの教科書 逆境をはね返す世界最強トレーニング」

カレン・ライピッチ アンドリュウ・シャター著(草思社、2015年) ISBN: 9784794221308 (第1回授業用)

第2回以降は使用しません。必要に応じて資料を提供します。

#### 【参考書】

「コロナ後の世界を生きるー私たちの提言ー」村上陽一郎編(岩波新書、2020年) ISBN: 978-4-00-431840-8

他の参考書は授業時間中に紹介します。

#### 【成績評価の方法】

レポート100% 各担当者がレポートの課題・テーマを設定し、授業時間中に説明します。

#### 【授業時間外学修についての指示】

授業後、内容の復習をしっかりと行ってください。予習課題を必要とする場合には、担当講師から事前に連絡します。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

授業中、ディスカッションの時間を多くとりたいと思います。参考書などを利用して予習をし、積極的に参加してください。

※基本的に授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。